

モニタリング・ワークショップ (W/S) の開催

モニタリングは、プロジェクト開始後、計画どおりに活動が行われているか、成果が達成されつつあるかなどをチェックし、必要に応じて軌道修正を行うこと、つまりプロジェクト内部のルーティン作業です。計画当初に設定した目標を指標に沿って管理するとともに、実施期間中の様々な変化に対応して、活動や成果を見直すことから、プロジェクト管理の柱となっています。

プロジェクト終了後の継続性も視野に入れて、カウンターパートが中心となってモニタリング活動を行うべきであることから、日本人専門家は、そのための仕組みづくりを協力しました。

今回のモニタリング・ワークショップ（参加者：県技術者、州エンジニアなど）では、県技術者の地方道路維持管理に関する実用的なスキル・知識について点数付け（各項目5点満点）を行い、その結果を発表しました。現況を客観的に示す一つの見方であり、彼らも高い関心をもって議論に参加しました。

Chamwino D.C.	1st Questionnaire (Sep. 2012)		2nd Questionnaire (Sep. 2013)	
	By RS Eng. (Rank-1)	By Dist. Eng. (Rank-2)	By RS Eng. (Rank-1)	By Dist. Eng. (Rank-2)
Q1: Planning	2.40	2.83		
Q2: Road inventories	2.80	2.50		
Q3: Structure design/plan	2.00	2.17		
Q4: Budget request	2.60	2.83		
Q5: B.O.A.	2.00	3.17		
Q6: Inspection	2.40	3.17		
Q7: Technical advice for contractors	2.40	3.17		
Q8: Time management	2.00	2.17		
Q9: Communication skills	2.40	3.00		
Q10: Record keeping	2.40	3.00		
TOTAL Rating (at-1)	2.48	2.75		
Q11: Overall rating	—	—		

➔

Chamwino D.C.	1st Questionnaire (Sep. 2012)		2nd Questionnaire (Sep. 2013)	
	By RS Eng. (Rank-1)	By Dist. Eng. (Rank-2)	By RS Eng. (Rank-1)	By Dist. Eng. (Rank-2)
Q1: Planning	2.40	2.83	3.00	3.27
Q2: Road inventories	2.80	2.50	3.00	3.71
Q3: Structure design/plan	2.00	2.17	2.71	3.00
Q4: Budget request	2.60	2.83	2.57	3.57
Q5: B.O.A.	3.00	3.17	2.86	3.43
Q6: Inspection	2.40	3.17	2.71	4.00
Q7: Technical advice for contractors	2.40	3.17	2.71	3.57
Q8: Time management	2.00	2.17	2.00	3.00
Q9: Communication skills	2.40	3.00	2.57	4.00
Q10: Record keeping	2.40	3.00	2.29	3.00
TOTAL Rating (at-2)	2.48	2.75	2.64	3.46
Q11: Overall rating	—	—	2.71	3.71

写真 1：口頭で効果音を用いて「隠し紙」を切り離したとき、W/Sの盛り上がりは最高潮に！

県技術者に関するアンケート調査は、彼ら自身で行う「自己評価」および州エンジニアによる「他者評価」に分けて実施し、それぞれの結果を比較しました。これは、県技術者による自己評価のみで判断すると、主観的な影響を強く受けてしまう可能性が高いためです。行政ラインで上位に位置する州エンジニアによる評価結果を加味することで、両者間の差を比較して客観性を持たせるようにしています。ただし裏を返せば、専門家による支援の中で、不足した部分が反映されているともいえるでしょう。



写真 2：州エンジニアによる白熱講義



写真 3：県技術者の熱弁により真剣に聞き入る様子

(RMSD：モニタリング専門家/平川 貴章)